

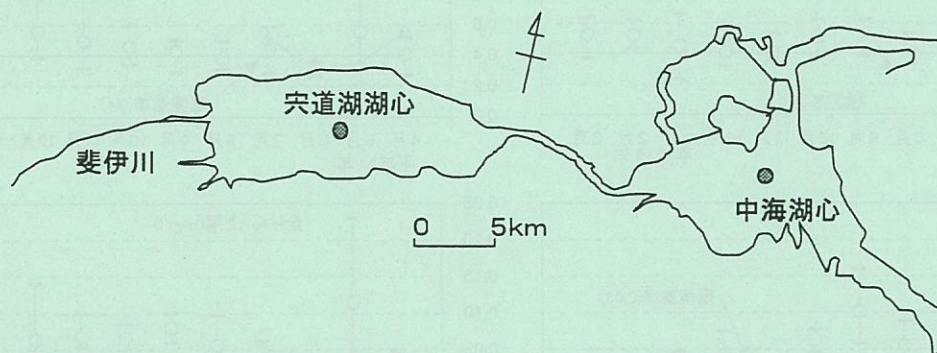
輝水だより (第 19 号)

【問い合わせ先】 島根県環境生活部環境政策課

湖沼環境係 電話:22-5562

平成 11 年 7 月の宍道湖・中海の水質の状況について、島根県が実施した調査結果の速報値をお知らせします。

1. 調査地点

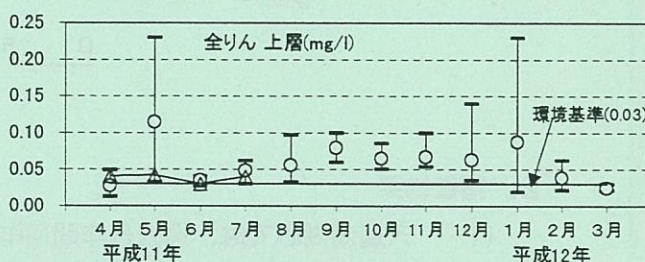
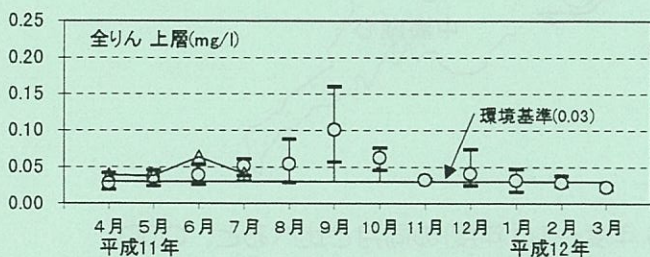
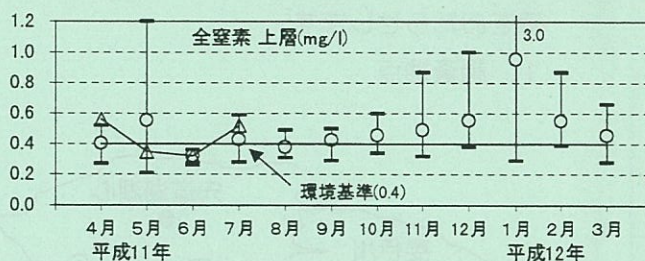
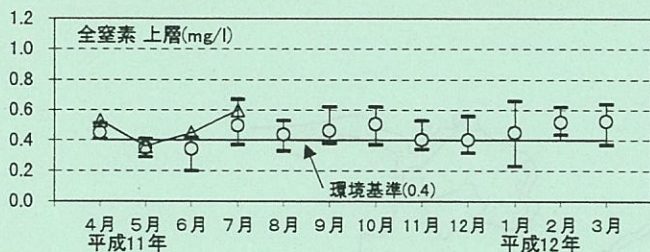
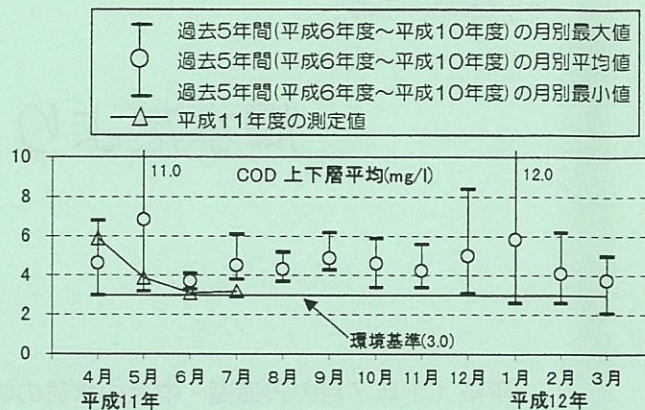
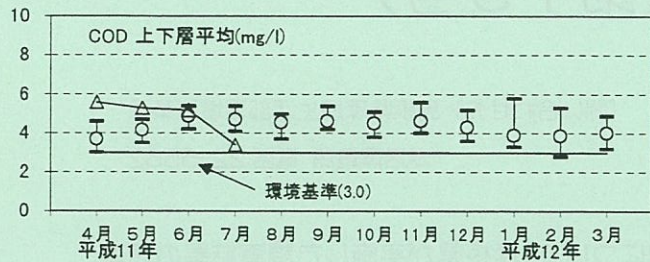


2. 調査結果

- (1) 宍道湖湖心では、過去 5 年間(平成 6 年度～10 年度)の同月と比べると、COD は最も低い値を示し、全窒素は平均値よりも高い値で、全りんは平均値よりも低い値でした。前月に引き続き、湖の東側でコノシロのへい死が確認されました。
- (2) 中海湖心では、過去 5 年間の同月と比べると、COD は最も低い値を示し、全窒素は平均値よりも高い値で、全りんは平均値よりも低い値でした。また、中海における島根県域の観測によると、広域にわたり下層は貧酸素化していました。

項目	単位	環境基準 (湖沼AⅢ類型)	宍道湖 (湖心)			中海 (湖心)			[参考]平成10年度平均*	
			5月	6月	7月	5月	6月	7月	宍道湖 (湖心)	中海 (湖心)
水温(上層)	°C	—	21.4	22.7	22.5	18.6	21.6	22.2	—	—
pH(上層)	—	6.5~8.5	8.5	9.0	7.6	8.4	8.1	8.2	—	—
COD(全層平均)	mg/l	3以下	5.3	5.2	3.4	3.9	3.1	3.2	4.7	4.7
SS(上層)	mg/l	5以下	6	7	7	4	5	4	6	9
DO(上層)	mg/l	7.5以上	9.3	12.0	8.1	8.1	7.8	8.9	9.6	9.4
DO(下層)	mg/l	7.5以上	8.8	7.6	4.1	0.9	2.6	<0.5	7.7	4.1
全窒素(上層)	mg/l	0.4以下	0.36	0.45	0.60	0.35	0.32	0.52	0.44	0.46
全りん(上層)	mg/l	0.03以下	0.038	0.064	0.041	0.042	0.030	0.040	0.051	0.064
Cl(上層)	mg/l	—	2600	3100	1600	10000	10000	2800	1600	8400
Cl(下層)	mg/l	—	2700	3100	2000	16000	16000	14000	2000	14000
クロロフィルa(上層)	μg/l	—	11	13	4.5	6.5	5.0	10	24	20

* 平成 10 年度公共用水域測定結果による。



宍道湖湖心における各水質の月変動

中海湖心における各水質の月変動

[水質の用語]

- pH 水の酸性、アルカリ性を示します。pHが7のときは中性、これより数値が高い場合は、アルカリ性、低い場合は酸性です。海水は8.2、河川水は7前後です。また、植物プランクトンが大量に発生すると上昇します。
- COD 湖水の中の有機物による汚れを示す指標です。数値が大きいほど有機物による汚れが大きいことを示します。
- SS 水中に漂っているゴミやプランクトンの量を示します。
- DO 水に溶けている酸素の量を示します、水に溶け込むことのできる量は温度によって異なり、温度が低いほどよく溶けます。
- 全窒素 水中の窒素の量を示します。全りんと同様にプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- 全りん 水中のりんの量を示します。
- クロロフィル a 植物プランクトンに含まれる葉緑素(クロロフィル a)の量を示します。この量が多いほど、植物プランクトンが多いことを示します。
- Cl 海水の割合を示す指標です。数値が大きいほど海水が多く混合しています。海水の塩素イオン濃度(Cl)は18800mg/lです。